



Mebius PC-PJ2

ポップなジャケットと シンプルなフォルムの相性は？



特徴的なデザインのヒンジ部分には、CPUを冷却するための水冷式冷却システムが組み込まれている。



「モバイルジャケット Type1」。片手に装着したまま、カバーを開けて、もう一方の手で操作できる。詳細は<http://maeda.box.co.jp/>

PROFILE ●酒井俊彦(さかいとしひこ)

サカイデザインアソシエイツ代表。87年東京造形大学卒業。通産省選定グッドデザイン賞、アビターレイテンが展出展(伊)、1995デザインの現在展出展(加)ほか。

「Mebius PC PJ-2」のデザイン的な特徴は、着脱式のプロテクター「モバイルジャケット」と、CPU冷却用の「ヒートパイプヒンジ」の2カ所に色濃く見られる。

「宇宙人二モ対応」 ジャケットの潔さ

エラストマ樹脂で作られた「モバイルジャケット」は全部で8色。ユーザーが自分の好きなタイプを選んで本体を飾ることができるのが「ウリ」だ。ヒンジの両端のネジをはずして装着する方式は取り付けの収まりもよく出来ており、プロテクトの機能も十分果たす。ただ、本体と合わせた時に

違和感が拭いきれないのが残念なところ。クールなアクセサリーの本体とシャープなイメージのヒンジ部にポップなモバイルジャケットが付いた印象は、コーディネートに間違った洋服のそれと同じ感じがする。もう一つの特徴であるヒンジ部には高温になるPentiumIIプロセッサを冷却するための水冷式冷却システムが組み込まれている。ヒートパイプヒンジと呼ばれる、蒸留水が注入されたこのシステムは冷却フィンモチーフにしたデザインで覆われている。しかしながら、その表現は細かすぎて冷却フィン連想するのは難しいし、本体とのバランスもあまり良くない。

この製品を見ていて湧いてくる疑問は全体を買うデザイン思想は何か？ということだ。個々のパーツは美しいのだが、全体としての思想が感じられずデザイン的な統一感がない。例外は限定受注タイプのモバイルジャケットType1。このパーツは思想的に明確であり、デザインが干渉するヒンジ部も隠されるため統一感が保たれている。スターウォーズをベースにしたという未来的なイメージがストレートに伝わってくる。ターゲット層の幅が広い製品のため冒険が難しいのだろうが、本体でもこのぐらい突き抜けた表現を試みても良かったのではないだろうか？